

釜石祥雲

学校報 No. 24
 発行:平成 26 年 3 月 1 日
 釜石祥雲支援学校

2 月前半には各学部の児童会・生徒会役員の選挙が行われました。

小学部 児童会	会 長	
	副会長	
中学部 生徒会	会 長	
	副会長	
	書 記	
高等部 生徒会	会 長	
	副会長	
	議 長	

各学部とも、昼休みには候補者が各教室を回って清き一票をお願いするなどの激しい選挙を展開しました。その結果、表のように新役員が決まりました。26年度各学部の中心となる

小学部児童総会
2月19日



みなさんです。よろしくお願いします。

各学部では、一年間の活動の反省を行う総会が行われましたので、お知らせします。

小学部では『なかよし会』の活動を振り返り、6年生が下級生のみんなをリードして大きなポスターを完成しました。

係活動や学級紹介、カー杯がんばったゲームコーナー、毎月の誕生会コーナーなど、真面目な表情やがんばっている様子が紹介されています。とびきりの笑顔があふれています。本校舎玄関に掲示しましたので、是非ご覧下さい。



中学部生徒総会
2月19日

高等部は、病院校舎の廊下で総会をしました。執行部、環境委員会、広報委員会、図書委員会の活動について、たくさんの質問や意見があり、さすが高等部の総会と感心するほどでした。

これまでの役員のみなさんお疲れ様でした。

総会の中であいさつした新役員のみなさん、来年度の釜石祥雲支援学校をさらに盛り上げて下さい。

スポーツチャンバラを中学部の体育で行いました。釜石市教育委員会から用具一式をお借りしたところ、指導にも来ていただけるとのことで、3回のご指導を受けました。普段からやさしい子ども達にとって、競技であっても叩いたり突いたりすることは抵抗があったようですが、徐々にコツをつかみ、試合形式



での練習もうまくなってきました。

学校以外の専門家を招いての学習も良い経験です。

来年はエアロビクスも予定しています。保護者のみな様もいかがですか。

中学部は、分教室の生徒と一緒に保健委員会と執行部の活動を振り返りました。活発に質問したり、頭を寄せて回答を相談したり、みんなで力を合わせて、一年間活動してきた様子と同じく、仲の良い雰囲気の総会でした。



高等部生徒総会
2月20日

復興希望の日

3月11日

あと数日で、東日本大震災から3年が経ちます。みな様の周りでは、復興の槌音が響いているのでしょうか。

釜石市内では復興住宅が完成し、すでに入居して新生活を始められています。また、3月中旬には、予想以上に大きなイオンがオープンします。子ども達だけでなく、これまで買い物に不自由していたお家のみな様も楽しみにしているのではないのでしょうか。

学校では、3月11日を『復興希望の日』として、全校集会で被害に遭われた方々の追悼とともに、一人一人が希望をもって前を向いて夢を実現できるようにがんばろうと決意を確認する日としています。大震災からの歩みを振り返ってみましょう。

平成23年は避難先での不自由な生活であり、お弁当も作れない中でスタートした学校生活でした。関係機関からの支援のもと、普段の学校生活を取り戻すことに最大限の努力を払いました。

高等部現場実習では、ボランティアセンターで被災した写真洗いを行いました。

復興教育としての始まりでした。

24年度は、復興ひまわりプ



ロジェクトとして、仮設住宅等にひまわりを届けました。

25年度は学習発表会等で募金していただいた義援金を社会福祉協議会へ届けたり、様々な支援に対してお礼のお手紙を書いたりしました。早速、お返事をいただくなどの反響がありました。



これまでいただいた支援は100件近くに及びます。防災用品や非常時の備蓄品などを購入し、有効に活用できるようにします。



災害時の対応は、子ども達が学校にいるときは、学校が責任を持ってお預かりいたしますので、ご自身の安全を

確保することを優先してください。学校からの連絡は、一斉メールや伝言ダイヤル171を活用いたします。ご家庭では、非常時にどのように行動するか、非常時持ち出し袋などのご用意やご確認もお願いします。

あの日のことや引き続く生活の不安などから心身の不調を感じている方はいらっしゃいませんか。学校では、保護者のみな様が毎日を笑顔で過ごせるように、今後ともPTA活動の一環として茶話会をします。また、地域のサポートや相談機関を紹介します



ので、この点についても遠慮なく、お話し下さい。

肩の力を抜いて、リラックスしていきましょう。

釜石震災ストレス相談室
岩手県釜石地区合同庁舎2階
Tel25-1822(要予約)